霧島神宮のお田植祭り

【所　在　地】霧島市霧島町田口 2608 － 5（霧島神宮お田植祭り保存会）
【種　　別】県指定無形民俗文化財
【指定年月日】平成３年３月 22 日

境内を田にみたてて耕し，緑肥になる刈敷を入れ，種播きや田植えまでを模擬的に行う春祭りである。このような祭りのことをよそでは「田遊」ともいうが，旧鹿児島藩内では一般に「打植祭」といった。しかし，霧島神宮では「お田植祭り」といってきた。

この祭りは県内に分布している打植祭のなかでも非常に儀式化され，洗練されたものである。

祭りの終りに独特の田の神舞が舞われるが，これは県内の田の神舞の原型の１つをしめすものである。

祭りに登場する牛面には宝永３（1706）年，翁面には宝永９（1712）年，媼面には明和９（1772）年と年代が記されており，約 290 年余り前頃から，この打植祭が演じられていたことがわかる貴重な資料でもある。

この打植祭にはジイ（爺），バジョ（婆），牛，田の神などが登場するが，これらを演ずる人々は特定の家に決まっている。このような例は他の打植祭にはみられないことである。

毎年，旧暦２月４日に霧島神宮に奉納されている。